

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の評価報告書

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会（以下「審査・運営評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プールの管理運営状況を評価した。

1 対象施設

鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プール

2 指定管理者

公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

3 指定管理期間

平成31年4月1日から令和6年3月31日

4 審査・運営評価委員会

(1) 開催日 令和4年8月25日（木）

(2) 開催場所 鳥取県立鳥取産業体育館

(3) 審査・運営評価委員

氏名	所属等
黒田 多美子（委員長）	倉吉市スポーツ推進委員協議会 会長
酒井 嘉一（副委員長）	税理士
景山 かず子	鳥取県障がい者水泳協会 理事
小林 一義	鳥取県地域づくり推進部スポーツ振興局スポーツ課長

(4) 評価方法

平成31年度から令和3年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、4人の委員の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
1 施設設備の維持管理等	<ul style="list-style-type: none">施設設備の保守管理・修繕施設の保安警備、清掃等事故の防止策、緊急時の対応
2 利用者サービス	<ul style="list-style-type: none">開館時間、休館日、利用料金等利用者へのサービス提供・向上策、施設の利用促進個人情報保護、情報公開利用者意見の把握・対応
3 収支の状況	<ul style="list-style-type: none">利用料金の徴収、減免の状況管理運営にかかる収支状況
4 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none">職員の配置会計事務の状況法令等の遵守

【評価指標】

- 2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。
- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
- 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
- △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
- △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プールの管理運営状況の評価は「0」と決定した。

審査項目	評価点数 (各委員の平均)
1 施設設備の維持管理等	0. 0 0
2 利用者サービス	0. 5 0
3 収支の状況	△0. 2 5
4 管理運営の状況	0. 0 0
総 括	0. 0 6 2 5

(注) 総括の評価は0. 0 6 2 5となり、委員協議の結果、5段階のうち「0」と決定。

イ 審査・運営評価委員からの主な意見

(施設設備の維持管理等)

- ・県との協定に従って適切に管理されている。
- ・他の施設と比較すると設備の維持管理を義務的に行っている印象がある。
- ・予算の制約があるため設備の更新は難しいと思われるが、予防保全・予兆保全は積極的に進めた方が良い。
- ・「施設改善委員会」は健全者だけではなく障がい者もメンバーに加えた方が良い。

(利用者サービス)

- ・県との協定に従い適切に実施されている。
- ・スマートフォン用アプリ「ミライロID」により障がい者手帳等がなくても身分証明ができるようにしている。
- ・ウォシュレットの設置等利用者の要望に応じて処理している。
- ・県との協定には定めがないが、外部による評価、利用者目線による管理は重要であるため外部評価委員会を実施した方がよい。
- ・令和3年度のクレーム対応は適切であった。
- ・2階ロビーに利用者の声を踏まえて卓球台を設置する等、利用者サービスを効果的に展開している。
- ・水球教室やレスリング教室等の特徴的な取組が行われており評価できる。

(収支の状況)

- ・灯油の使用について、当日のみならず翌日の天候等を職員が共有することにより細かく管理を行い、経費の削減に努めている。
- ・令和元年度末から令和3年度までは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で収入額が減少している。外部要因であり、不可抗力といえるが、純粋に金額面を見ると評価を下げざるを得ない。ただし、収入が減少した分支出も抑えており、改善努力は評価できる。
- ・令和元年度は大幅な赤字であったが、令和2年度及び令和3年度は赤字でありながらも大きく改善されている。コスト削減の効果と思われるが、努力を評価したい。
- ・収支状況について正確な数値が整理できていない点が散見される。県スポーツ協会事務局のチェック体制が機能していないと見なされても仕方がないと感じた。

(管理運営の状況)

- ・誠実な管理がされていると感じた。
- ・他の施設と比較すると利用者の苦情・クレームの質が異なる（こんなことにまで苦情を言うのかという印象）。対応が大変だがよく運営していると思う。

(その他)

- ・館長の案内及び説明が丁寧だった。
- ・屋内プールの夏期（冷水）冬期（温水）の利用料金を同額とするよう見直すべき。
〔夏期と冬期の利用料金差額の負担が利用者にとって大きい。設定金額にもよるが、料金見直しにより収入増が見込める。〕